

母の手の温もりこそ癒し

母の手の温もりを、切に感じた夜だった・・・。
私は今春、久しぶりに仕事が決まり、慣れないながらも懸命に働いている。無理がたたったのか、体のあちこちが痛み、その日は帰宅後すぐ床に伏した。気づいた母がやってきて、私の背中をぐいぐいと押してくれたのだ。

69歳の母のことだ。押す力もか弱い。だが深い愛情が感じられた。どんな肩もみ機より母の手が効くのだと、実感した。私はその日あったことを笑顔で語り、元気を取り戻した。

母には感謝の意を込めて初の給料からお礼をした。母は「お礼より、娘が頑張っていることが一番の幸せ」と言い、伯母や叔父にうれしそうに電話していた。

こんな幸せそうな母の顔は見たことがなかった。また頑張ろうと思った。

パート 守安 沙代
(岡山県倉敷市 35)

朝日新聞「声」より

守安さんにどんな過去があったかはわかりませんが、母子のお互いを思いやる気持ちが伝わってきます。

あなたのお母さんにも読んでもらいたいですね。

由仁町 本覚寺 高橋芳子